



生き生き井田川

2021年10月20日発行 井田川小学校学校運営協議会 82-2021

◇第3回学校運営協議会(6/30)「学校の安心・安全について」

《会長より》最近では日本全国で線状降水帯の影響で大きな被害が出ています。井田川小学校区でも昭和49年に棕川が氾濫し川合町の三分の一が浸水しています。台風や大雨の際など、学校運営協議会でも子どもの安全を第一に考え、防災上の懸念、暴風警報が出た際の学校の対応や引き渡しなどについて協議したいと思います。また、一学期には、千葉県にて下校途中の児童にトラックが突っ込むという事故がありました。このような事故がおきないように本校でも通学路の問題についてもしっかりと協議し改善していきたいと思っています。

◇井田川小学校区の防災上の懸念

「亀山防災ネットワーク」の代表でもある学校運営協議会委員の近藤さんに解説いただきながら、台風や大雨による井田川小学校区内の浸水想定区域を「風水害ハザードマップ」「ため池ハザードマップ」（亀山市HP参照）にて確認しました。



【近藤委員より】井田川小学校区には長妻池、北谷池（川合町）、和田池、安場池（和田町）などのため池があり、決壊すると周辺が浸水する可能性があります。また、棕川・安楽川周辺や、そこに流れ込む小川周辺の低い土地は大雨の際、浸水の危険が非常に高くなっています。子どもたちの通学路に該当する場所もあり、登下校時には細心の注意が必要です。

◇災害時の児童の下校、引き渡しについて

近年、井田川小学校において、始業後に暴風警報が発令されたことはありませんが、他地域での大雨や暴風の影響を考えると、亀山市でも他人ごとではありません。井田川小学校では、例年、地震の際の引き渡し訓練を行ってきましたが、今後は、大雨や暴風時を想定しての一斉下校や緊急引き渡し訓練についても検討していきたいと思っています。

【委員より】

◆数年前に緊急一斉下校があり下校時刻が早まったことがあった。緊急警報が出た場合、基本的に学童保育も閉所だが、保護者が不在のため緊急事態で預かってもらった児童もいたと聞く。学校と学童保育との連携も検討が必要ではないか。

【学校より】緊急時の引き渡し方法については、地域やPTA、学童保育所などの意見を聞いた上で、学童保育は閉所し、児童を保護者に引き渡すまで学校が対応する方向でマニュアル化を進めていきたいと思っています。

◇通学路および学校周辺の危険個所について

校内への進入口の不足と狭さ、学校周辺道路の狭さと複雑さ、視界の悪さのため登下校時の危険個所が多くあります。みずきが丘、みずほ台方面からの歩道がない通学路にはスクールゾーンに色付けしてありますが、和田方面からの通学路にはないので市に要望したいと思います。

【委員より】

◆通学路要望として毎年PTAからも市に要望を出しているが、学校や学校運営協議会、地域などいろいろな所から意見をあげてもらえると具体的に進みやすいのではないかと思います。



【学校より】和田方面の通学路については、2学期より県警や市と現状を調査しながら改善できるように話し合いを進めています。校内への進入口の増設については今後も要望を続けていきます。

◇第4回学校運営協議会(8/4)「教職員の働き方改革について」

現在、グローバル化やICTの普及など学校を取り巻く環境は大きく変化しています。様々な新しい課題への対応が求められる中、教育の質を維持するためには教員の働き方改革が必要だという認識が高まっています。日本の学校では学習指導はもちろんのこと、人格的、道徳的指導にも力を入れており高く評価されていますが、勤務時間は国際的にも最長です。これは、井田川小学校も例外ではありません。今回は学級担任や管理職の具体的な業務内容やタイムスケジュールを共有し、課題や考えられる改善策について話し合いました。



【学校より】～課題～①朝の勤務開始時刻は8:30だが、それより早く子どもが到着するので早めに出勤し教室の環境整備や授業準備をしている。
②給食、掃除、昼休みの見守りのため、昼休憩がとれない。
③子どもたちの下校後（16:00～）に授業準備、会議、校務分掌、保護者への連絡などを行うことになるが、勤務時間内に全てを終わらせることは難しい。

【委員より】

◆授業の準備や学校業務に関することは、外部からの手助けはできないが、朝の登校時間や放課後の保護者への連絡などは、十分協議したうえで、保護者へ時間帯の協力をお願いするなどできるのではないかと。また、運動会などの学校行事も地域の行事にすることもでき、工夫次第で教員の負担を減らせると思う。

◆課題はすぐに井田川小学校だけで解決できるものではないので、他の自治体のコミュニティ・スクールの取り組み事例などを紹介してもらいたい。



【学校より】H31年には、文部科学省より勤務時間の上限などのガイドラインが出されおり、勤務時間縮減を目指していますが、指導力向上のためや子どもたちに寄り添いたいと思うと、ある程度の時間も必要であり、教職員も試行錯誤しています。子どもたちのために保護者や地域、専門家と協力して「チーム井田川」として子どもたちの成長をサポートする体制を作っていきたいと思っています。

「井田っ子応援団」活動紹介③ (ボランティア&教職員アンケートより)

井田っ子スマイル教室 (文化): 放課後の子どもの居場所づくりとして、地域の方々に遊びやスポーツ、体験、文化活動などを教えていただいています。年間10回ほど水曜日の放課後に開催しています。6月30日(水)は11講座に約130名の子どもたちが参加しました。1年生は2学期(12月)からの募集になります。

《ワクワクッキング》1~6年生対象。この日のメニューは「カカオチュロス」。初めてフライパンを使う子もボランティアさんに見守られながらチャレンジ!自分で作ったおやつは格別です。



子どもたちが楽しそうにお料理していて私たちも嬉しくなります。簡単なメニューなのでお家の人と作ってください。



《茶道裏千家》4~6年生対象。季節に合わせた掛け軸やお花を拝見し、お茶の点て方やお菓子のいただき方を教えていただきます。一年間続けて参加すると身のこなしも美しく変化します。

茶道を通して思いやりと我慢する心を学んでもらえたら嬉しいです。

《運動しながら英語を学ぼう》1~2年生対象。先生の英語をしっかりと聞いて、次は何をするのかな? 「head, shoulder...red, blue...」 「あたま、かた...あか、あお...」音楽に合わせて走り回り、カードや道具を使いながら自然に英語が口から出ている子どもたち! 「楽しい」は学びの最大のモチベーションですね。



《ネイルアート》1~6年生対象。ネイルチップにネイルカラーを塗り、ビーズやシールをデコして、自分だけのキーホルダーを作ります。毎回参加して季節ごとの作品をコレクションしている子もいます。

子どもたちがたくさんの地域の人とふれあえる機会になっていたら嬉しいです。

《灯おどり》

1~6年生対象。灯おどりは、1957年に地場産業のろうそくを題材に市民が考え出したのが始まりだそうです。今では亀山の伝統文化として根付いています。灯おどりをマスターして納涼祭で浴衣姿でおどればとても素敵でしょうね。



《紙芝居》1~4年生対象。昔懐かしい木枠を使った紙芝居です。パツとめくられたり、ジリジリめくられたり、次の場面をワクワクしながら待つこの感じが楽しい。デジタル世代の子どもたちにも変わらず人気の講座です。



《ポーセラーツ》1~6年生対象。真っ白のお皿やコップにシールをペタペタ。後日、先生の窯で焼いてもらい、世界に一つだけの食器が届くのもプレゼントみたいで嬉しい楽しみです。

手作り作品を作る楽しさを知ってもらえると嬉しいです。



ボランティア

《フラワーアレンジ》1~6年生対象。今回はコサージュを作成しました。何色の花がきれいかな、バランスはいいかな、リボンはどうしよう、気分はすっかりアーティスト。生活の中にお花があると気持ちも華やぎますね。



《楽しもう落語》1~6年生対象。300年もの間受け継がれてきた伝統芸能でありながら進化し続けている落語。クイズや言葉遊びを通して落語のおもしろさをわかりやすく解説していただいています。初めての人から、お笑いや話術を極めたい人まで楽しめる講座です。

《クレイクチュール》1~6年生対象。クラフト用のいろいろな色の粘土をこねこねして小さな小物を作ります。ブローチ、はしおき、マグネット。自分で作ったお気に入りのものが増えていくととっても嬉しい。

ひとりひとり一人一人の感性を大切にしたいと思っています。



《スクラップブック》1~6年生対象。写真を美しくレイアウトして思い出をより鮮やかに残していくクラフトです。今回が初めての開催でしたが、たくさんの子どもたちが参加し、家族や友達、ペットの写真など大切な写真が引き立つように思い思いに仕上げました。おうちに飾るのが楽しみです。



「井田っ子応援団」の活動メンバーを募集中です。あいた時間や特技を活かして、子どもたちの笑顔のために、一緒に活動しませんか。短い時間でも大歓迎です。ご協力いただける方は学校(教頭:三谷 C S 事務:内藤 82-2021)までご連絡ください。

